

~~~~~

宮島先生

こんばんは。14 の●●です。

合格体験記の返信が遅くなり申し訳ありません。下記に記載しましたのでよろしくご査収くださいませ。

私は宮島先生の総合本科生Plusで合格しました。

総合本科生Plusには、オプション講座の一般常識セミナーなども含まれていたのもこのコースを選びました。

社会保険労務士試験はやはり難しく、宮島先生の講義を受けていて良かったです。

理解しにくい条文も宮島先生が内容を噛み砕いて説明してくださるので、スッと頭に入ってきました。

また宮島先生が作成されたレジュメも付くので、これを見ながらの復習も効果的だったと思います。

~~~~~

私は 2014 年に 3 回目の受験で社労士試験に合格しました。

1 年目は勉強方法がきちんと定まらないまま受験した感じで、当然不合格。

2 年目は予備校に通うことにしましたが、TAC の宮島先生のクラス(総合本科生Plus)を受講することになりました。1 年目受けた答練が、とても分かり易かったからです。

夜は残業や疲れなどから勉強の時間が取れないこともあるかと、毎朝仕事前に 2~3 時間の勉強をしました。そして 1 週間のリズムとして、木・金に土曜に受講する講義を web で先に受講。土曜は教室で講義を受講(7 時過ぎには学校に行き自習)。日~水曜で、受けた講義の内容に該当する過去問や問題集を回す、と決めました。講義を 2 回聴くこと、それも同じ先生の講義を聴くことで、理解しやすくなったと思います。

3 年目も迷わず 2 年目と同じ宮島先生の総合本科生Plusでリベンジすることを決意しました。2 年目と同じ勉強方法をベースに平日 5 時間、休日 8 時間を目標に勉強。あとは、通勤時間は暗記カード、バスや電車待ち時間はスマホのアプリ、昼休憩はアプリや暗記カードなど。朝活時間と自習室では予習復習、問題演習という風に、1 日の場面毎に使う教材を予め決めて勉強しました。

宮島先生のPlusのコースと他のコースを比べて特に良いと思ったのは、補講です。わたしはこれを iPod に落として、入浴中に毎日聴きました。各科目の重要な部分をまとめた講義なので、とても良かったです。

この 3 年間、仕事も忙しく本当にキツイ毎日でしたが、宮島先生の軽妙な、分かり易い講義のおかげでなんとか合格を勝ち取ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

合格には、自分がどれだけ強く合格したいと思っているか。どれだけ覚悟を決めて、自分の時間を勉強に注ぎ込めるか。そして自分の勉強の計画をしっかり立て、最後まで貫くこと。それに尽きると思います。合格を掴み取るまで頑張ってください！

~~~~~

宮島先生

こんにちは、14 合格の●●です。

遅くなってしまい申し訳ありません！合格体験記をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

私は 2013 年 9 月から宮島先生の総合本科生Plusを受講しました。社労士の勉強は 6 月から書店で手に取った本で少し進めていたものの、独学に不安を感じ、宮島先生のセミナーに参加したのがきっかけでPlusを受講しました。

勉強範囲が膨大な範囲で不安な方も多いと思いますが、宮島先生にいつも明るく、楽しく講義をして頂いたおかげで授業に行くのが楽しみでもありました。勉強をしていくと上手い出来ない時や落ち込むときは必ずあると思います。けれど、そんな時こそ、予習→講義→復習の流れを丁寧にし、宮島先生やPlusの友達、自分を信じて下さい。最後の最後は勉強してきたことを信じられるかどうかだと思います。

これを読んでいる方が 1 人でも合格されることを祈っています。

~~~~~

宮島先生、ありがとうございました。14 年合格の●●です。

私は 1 年目、独学で勉強していましたが不合格。このままの勉強方法では来年も合格はできないと思っていたところ、Web で宮島先生のセミナーを視聴し受講を決めました。

できれば教室講座を受講したかったのですが、仕事の都合上 DVD 通信講座としました。

Web や DVD で 1 年間に渡る講義を受講し続けることができるのか不安な方も多いと思いますが、心配ありません。宮島先生の熱い魂はパソコンの画面を飛び越えて通じてきます。初学者であっても何度でも見直したくなる宮島先生の楽しい話法とゴロ合わせ。そして理解が進むにつれて、早く次の宮島先生の講義を受けたいになるので、自然と予習→講義→復習のリズムが生まれます。まさに宮島スペシャルです。宮島先生の講義を繰り返し見ても見ることが出来るのも DVD 通信講座の良いところでしょう。また、総合本科生 Plus の DVD 通信講座でもあの神ツール「デジボ」が見れるので、教室受講生に後れをとれません。

合格祝賀パーティーで宮島先生に初めてお会いしましたが、週 2 回以上画面を通じてお会いしていたので不思議な気持ちでした。宮島先生を信じて受講して良かったと思った瞬間です。DVD 通信講座を検討している方に、ぜひこの不思議な気持ちを味わってもらいたいです。

最後に皆様が宮島先生の Plus を受講し、来年の試験に合格されることをお祈りいたします。

~~~~~

この体験記を読む皆さんの中には、社会保険の実務担当の方もいらっしゃると思います。  
私もそうでした。仕事に役立ちそうだから、と軽い気持ちで勉強を始めました。

初学者向けの入門講義で宮島先生の授業を受けたとき、とても分かりやすく、実務上でのイメージも沸き、「講義についていければ合格できる」と思いました。仕事を続けながらの受験生活でしたが、TAC に通っていると、クラスに友人もできていき、学生時代に戻ったかのような感覚が生まれ、毎日がとても充実しました。

仕事の繁忙期には、勉強との両立が苦しい時もありましたが、TAC に行って先生の講義を受けると、不思議と落ち着きました。特に、本試験の直前は勉強すること自体が楽しく、社労士受験生という職業があればいいのに……と思ったくらいです(笑)(ただし、私は勉強にのめり込みすぎて、本試験の前日に体調を崩してしまいました。点滴を受けて、痛み止めを飲み、言うようにしてなんとか本試験を受けたという……今ではいい思い出です。)

今では社労士法人に転職し、好きな社会保険と毎日向き合えています。社労士となるきっかけを与えて頂いた宮島先生と TAC には、感謝の思いで一杯です。宮島先生のもとで勉強して良かった、と心から思っています。

14 合格 ●●

~~~~~

渋谷校 2014 年度合格 ●●

<自己紹介>

私は昭和 60 年に大学を卒業し、都市銀行に就職しました。入社直後に都心部の不動産を発端としたバブルが日本を襲いました。私の勤めていた港区の地価は幹線道路を外れても坪 4 千万円に達するなど常軌を逸した事態に突入していました。その後のバブル崩壊から長い景気低迷、日本経済の凋落を肌で感じてきました。銀行では営業の仕事が中心だったため、労務管理や社会保険に関する知識はほとんど身につけることがありませんでした。

ところが一昨年 4 月に関係会社に移ることになり、大勢の事務職員を管轄する事務受託中心の仕事に任されることとなります。新しい会社では正社員、出向者、嘱託、派遣社員などさまざまな職種の人が入り、当然勤務形態、給与体系、休暇の取り方、退職規定などが異なります。当然どうやったら所定労働時間内に業務を終えることができるのか、できなければ毎月何時間以内に抑えないと労働基準法に抵触してしまうのかなど、今まで人任せにしていた労務管理を自分でやらなければなりません。もちろん、女性の多い職場ですから産休も珍しくありません。上司面して偉そうなことを言っている、労務管理に関する法律知識もないのでは、とても部下からの信頼を得ることなどできないと思い、一念発起してこの資格取得することにしました。

<宮島クラスを選んだ理由>

もう 15 年以上も前、たまたま TAC 校舎の受付前のテレビで社労士の入門講義が放映されていました。見ると髪の毛が私の 3 倍はあろうかと思われる超印象的な風貌の講師が、入門講義とは思えない早口で、にもかかわらず非常にわかりやすく丁寧な説明をされているではありませんか。その時点で社労士資格にまったく興味のなかった私ですが、この資格が自分の目指すべき資格でないことを残念に思ったのを覚えています。

しかしこのときの宮島先生の高いトーンのボイスが私の記憶から離れることはなく、一昨年前についに「自分の目指すべき資格」になり、迷わず宮島クラスを選択したわけです。宮島クラスの選択はいわば運命であったと考えています。

<受験勉強で苦労したこと>

初学で基礎知識もない、若いときは記憶力に多少の自信があったが今はそれもない。プライベートを 100% 犠牲にする覚悟もないので学習時間にも制約がある。などなど苦労だらけでしたが、しいて言えば今自分に挑戦の機会があることを強く感謝し、何とか乗り切ろうと思いました。

<自分なりの学習法>

私は総合本科生で 9 月から学習をスタートしましたが、最初の 3 か月はなかなか学習のペースがつかみきれませんでした。そんな時偶然宮島先生の総合本科生 Plus 特別セミナーを聴講して、1 日の学習プランをお聞きしました。(私は Plus の受講生でなかったのですが、学習プランを聞くのは初めてでした。)先生のお話の中では、通勤時間・朝・昼・帰宅前フルに活用するプランとなっていたのですが、自分にはそこまでできません。そこで一番現実的な通勤時間と朝の時間を活用することにしました。まず始発から 2 本目の電車で約 50 分、勤務先の最寄駅に着いたらスタバで 1 時間半みっちり学習することにしました。前日接待で二日酔いだろうが錦織君の試合を見て寝不足だろうが、ここだけは妥協せず学習時間にあてることにしました。

初学の私は実力テストではまずまずの結果が出ましたが、実力完成答練・総合答練では科目によって出来に大きな差が出てしまいました。また 2 回の模試では両方とも得点が 39 点、選択も 2 点以下の科目があり、評定は D でした。大切なのはここであきらめないことです。TAC のテキストを一読したうえで総合本科生の宮島クラスの講義に欠かさず出席し、一度でもきちんと内容を理解していれば、追い込みの時期に得点のスキルを高めていくことは十分可能なのです。

私の場合、最終的にどんな問題が出て 7 割を確保できる実力がついたと思っています。7 割というのは本番で取れる点数です。どんなに繰り返し学習したとしても、限られた時間内で緊張の中で行うテストですから、数回はケアレスミスがあるはず。多くの方は「8 割の知識があっても得点できるのは 7 割」ということになってしまうと思うのです。ですからできれば 8 割の実力をもって試験当日を迎えたいところなのですが、試験当日に 8 割の実力がついていない場合にはいかにしてケアレスミスを減らしていくか、ここで合否の差が出てくるのではないかと思います。私は模試の結果などから 8 割の実力はついていなかったと思いますが、「知っていることは確実に得点する」スキルを磨いてきたことで、7 割確保が可能になった気がします。この「知っていることは確実に得点する」スキルは、宮島クラスで養った基礎知識が土台になっていることは言うまでもありません。

<仕事と受験勉強の両立で工夫したこと>

宮島先生の特別セミナーで学んだこと、つまり忙しい日、接待などで遅くなった日などは帰宅したあと無理に勉強しないこと。翌朝は妥協せず必ずスタバで勉強すること。

<宮島クラスを選んでよかったこと>

7 割得点するための基礎知識を確実に身につけることができること。苦労して合格したあとも、宮島先生や大先輩の合格者との情報交換・交流ができること。

私も宮島クラスの OB として、たくさんの後輩に巡り合えることを楽しみにしています。

~~~~~  
合格年 2014 年 宮島クラス 合格体験記

## Q. 宮島クラスで良かったこと

A. とにかく人が多いので、受験仲間を作ると言う点では人脈づくりには困らなかったです。他校からの移籍組や成績の優秀な人と知り合うと、問題集の使い方や勉強時間の確保、語呂合わせなど、授業で聞けない話を聞くことができます。勿論、他の先生でも評判の良い先生はいますが、宮島先生も TAC 社労士講座では看板講師の一人なので、そういったメリットはあると思います。また、池袋校だけでもとても多くの受講生がいるにも関わらず、生徒の顔を覚えているので、話が合います。特に質問や相談をすると過去の例になぞらえてアドバイスをもらえるので、心理的にも安心できると思います。

## Q. 宮島クラスのおすすめポイント

A. オリジナルレジュメ(通称:デジボ)があるので、テキストで理解しにくい項目などが理解しやすくなります。オプション講座も、同様のレジュメが付きますので、授業内容を吸収しやすくする意味でも、せっかく受けるなら宮島先生で年間通して受講するメリットはあると思います。また、都内であればどこに行っても総合本科生のクラスで同じ授業をしていますので、仕事やプライベートで都合が合わない日も振替受講が十分可能です。宮島先生 TAC 社会保険労務士講座

生の場合は、本当にどこに行ってもほぼ同じ内容を喋っているの、確認ついでに同じ授業を2回受講するのも面白いかも…。

Q. 受講先に悩んでいる人にアドバイス

A. 他校でもそうですが、社労士講座はハッキリ言って受講料は安くないです。下手すれば給与の1カ月分近くが飛んでいきます。ですが、それだけ払ったからにはやるしかないと言う覚悟を決めるには良いと思います。その中で、やはり色々な先生がいますが、私の場合はインスピレーションで宮島先生を選んで結果に繋がりましたので、自分の判断は間違っていなかったと確信をしています。

~~~~~

宮島先生、お世話になっております。

昨年合格いたしました 14 の●●と申します。

合格体験記ですが、私は昨年 4 回目で合格することができまして、実際に宮島先生の講義は 2 回目の時の横浜校で受講しておりましたので、内容はその当時も含めてでよろしければ書かせていただきます。

宮島先生の事は前から噂で聞いておりまして、試しに一度聴いてみたいと思い受講したらとても分かりやすく講義の内容も印象に残りました。毎回配られるデジボもわかりやすく、テキストに張り付けて使わせてもらいました。私がその時に通っていたのは横浜校の平日夜クラスで、仕事終わりだとたまに疲れている時がありましたが、それでも宮島先生の印象の残る講義を受けたい言う気持ちが強かったので何とか最後まで受講することができまして、点数もかなり伸ばすことができました。たまに懇親会も開いてくれることもあり何度か参加をしましたが、宮島先生は各席に回り、そこでも熱心に話していて貴重な話を聞く事ができて楽しかったです。

昨年は上級本科生へ変更しましたが、オプション講座は宮島先生の講義を受けたいと思い、一般常識セミナーと横断セミナーは渋谷校で別に申込み、久しぶりに聞きました。相変わらずの熱心な先生で講義もとても楽しく、モチベーションアップにも繋げることができました。

たまにゴロ合わせも教えてくれるのですが、特に昨年の労災の選択式は、昔教えていただいたゴロ合わせがそのまま使えたので、問題を見た時点でラッキーと思い、即答で答えを埋めることができましたので、受けていて本当に良かったと改めて実感をさせられました。

宮島先生の講義は印象に残ることは間違いないので、ぜひ一度体験講義を受けてみることをお勧めします。

~~~~~

宮島先生、先日はありがとうございました！ TAC を離れてもフォローをしていただけるなんて、感謝感激です！ 合格体験記を書いてみたので、良ければ、使ってくださいね。

宮島先生の講義のすごいところは、試験勉強として大事なところを音(声)やジェスチャーとして頭に記憶させられてしてしまう！ ところです。

講義を受けたことがある人はお分かりですが、先生は講義中とても動きます！ 手脚を使って色々表現します！ 語呂合わせも色々考えてくださいます。初めに聞いた時は吹き出しそう！？ 語呂合わせも沢山ありますが、何度も聞かされるうちにそれが当たり前になり、直前期には全員その語呂合わせに頼いて講義を聞いています。

先生の用意してくださるデジボも復習する時にとても役に立ちます。細かいところまでまとめてあるので、とても助けられました。

私は教室で講義を受けていましたが、土日の講義の時は仕事に行くよりも早く家を出て席取りをしなければなりませんでした。それでも続けられたのは、宮島先生の講義が楽しかったからだと思います。社労士の勉強は科目も多く楽なものではありませんでしたが、宮島先生の講義はまた聞きたいと思ってしまいます。

~~~~~

宮島先生

こんばんは。14●●です。遅くなりましたが、合格体験記をお送りします。

私は1年目は他の予備校でしたが、社労士試験にストレートで一発合格した知人が TAC の宮島先生に教わったことがわかり、2年目からお世話になることにしました。

Plus の良いところは何といっても講義を何度でも聴けることです。Plus についてくる通称デジボという先生特製のオリジナルレジュメを目で確認しながら丁寧にテンポの良い講義を聴いていると、深い所まで理解が進みます。1 回聴けばそのクオリティの高さがわかっていただけたと思います。

テキストの範囲は、全て完璧に噛み砕いて教えてくださり、他の先生の講義も受けましたが、ここまで質が高くわかりやすい講義は他にはないと私は思っています。超おすすめします！

私は宮島先生のお蔭で合格できました。この喜びをぜひ皆さんにも味わっていただきたいです。

~~~~~

宮島先生

14 合格の●●と申します。先日はお疲れ様でした。

さて、本題の私の体験記についてですが、以下ご連絡します。拙い文章ですが、ご容赦ください。

### 1) 宮島先生のクラスを選んだ理由

私は多くの方と同じように会社員で且つ家庭を持っています。休日には家内に代わり、子供の世話(習い事の付き添い等)をすることも多いです。平日、子供のことで何かと忙しい家内の負担を和らげつつ、私の社労士資格取得勉強に時間を割く、というバランスを保つ方法として、平日夜クラスを優先に考えていました。もちろん、Webという手段もあったのですが、講義の現場で他の受講生と緊張感を共有し、また講義の進捗に沿って勉強を(強制的に)進める必要がある教室クラスを優先させました。私は総合本科生の新宿校に通ったのですが、幸いなことに会社から TAC へは徒歩 5 分くらいでの距離であり、更に平日夜に人気講師の宮島先生のクラスがあったので、これ以上の好条件はあり得ないという気持ちから、もう迷うことなく申込みをしました。

### 2) 講義の感想等講義

内容に、何の文句もありません。初学者の方でもスムーズに理解しながら学習できると思います。宮島先生は講義毎にレジュメ(通称:デジボ)を用意されていますので、講義内容の理解に大きな助けとなりました。ここ数年の基本知識重視の試験傾向から考えても、1 年間講義に食らいついていけば、十分過ぎる内容の講義だと思います。なお、先生は比較的(かなり?)早口なので、講義のテンポには早く馴染むことは必要に思います。ただ、その口調は結構小気味よいもので、実際印象に残るフレーズが本試験の問題と解いている最中に頭の中にフラッシュバックしたことは事実ありました(先生、ありがとうございました!!)。

### 3) その他(社労士資格の学習全般の所感等)

私は最初独学で社労士取得を目指していました。が、結果的に資格取得まで 4 年を費やすことになりました。やる気次第で独学でも合格は可能だと思いますが、毎年多くの法改正が行われ且つそこが結構狙われることが多い社労士試験にとって、独学は効率的な勉強方法とは思いません。結果論ですが、TAC の社労士テキスト、デジボ、暗記ノート、講義開始前に実施するミニテスト、1~2 科目終了後に実施する実力テスト、6 月くらいからの講義終盤で実施する答練、TAC の 2 回の模試、これらはコースに含まれています。これに過去問(10 年分)を加えれば、合格に必要な素材はもう十分だと思います。あとは、試験日まで苦しくても毎日、繰り返しこれら教材をフル活用しつつ知識を定着させるだけだと思います。学習教材を信じ、講義の進捗に食らいつき、合格への熱い思いを絶やさなければ、目指すゴールは近くににあるように思います。

合格発表当日、自分の番号を官報で見つけた途端に自然と溢れてきた涙と感動を多くの皆さんと共有できればすごくうれしいです。

~~~~~

宮島先生

お世話になっております。13 合格の●●と申します。

昨年は誠にありがとうございました。また、勉強会に入れていただいたお蔭で、無事に来週の事務指定講習の面接までたどり着くことができました。ありがとうございました。

合格体験記ですが、私でよろしければご協力させていただきたく、以下記載しましたので、ご確認ください。

◆宮島クラスで良かったこと

・現在も仕事は営業職で、社労士業務とは無縁なのですが、講義は初学者にもわかりやすく楽しい講義で学習に集中できた事が良かったです。

・クラスの人たちが講義が終わっても、帰らずに質問や自習をしていて、とても真面目な方が多いクラスで、自分の学習の刺激になりました。

2) アドバイスの的確さ！

6月までお世話になっていた先生からは「今年はあきらめた方がいいのでは?」と言われ、相当落ち込みつつも、宮島先生に相談しました。ここで相談しなければ、一発合格は無かったと思います。宮島先生の「まだ間に合います! いいですか・・・」に続くアドバイスに従い、最後の2カ月で追い込みをかけたところ、模試では2回ともD判定だった自分が、無事合格することができました。

3) 合格後のネットワーク作りができる！

合格後は宮島クラス卒業生で構成されている勉強会に参加することができます。合格することはもちろん大事ですが、合格後はまた別のスタートラインに立つことになります。そのことを考えても、宮島クラスにしてよかったと思いました。

- ・勉強法

1)早い時期から問題を解く

テキスト読みは大事ですが、私の場合はテキストを読むだけでは頭に入っていないタイプなので、問題演習中心の勉強でした。問題を解かないと合格できませんから、間違えてもいいので、早い段階で過去問や合格のツボに取り組んだ方がいいと思います。

2)ちゃんと覚える

社労士の試験は「理解」が大事だといわれていますが、一番大事なのは「正確に覚えること＝暗記」だと思います。

「理解」というのは、あくまで「正確に覚えること」の助けであって、正確な情報が頭に入っていて、それを呼び起こすことができないと、本番では問題が解けません。理解で満足せず、きちんと覚えることが大事だと思いました(このことをアドバイスしてくださったのも、宮島先生でした)。

3) 問題演習では、自分に厳しく

最初は一問一答の問題集(合格のツボ)を使っていたのですが、マル or バツを判断した後、その理由をノートに書いていました。(「この文言がこうだからマル」「この数字が違って、正確にはあの数字だからバツ」など)。マルバツが合っている、理由が間違っていて偶然の2択で正解したのであれば、それは正解したことにはしませんでした。この勉強法は選択式対策にも効果的だったので、最初は時間がかかってしまいましたが、結果的に効率的かと思いました。

4) 素直にアドバイスを聞く。最後まであきらめない。

私は他人から「バカ正直」「楽天的」といわれることが多いのですが、この性格のおかげで助かったと思います。模試が2回ともD判定で、宮島先生に相談した時にいただいたアドバイスどおりに、バカ正直にそのとおりに勉強したことが、合格につながったと思います。プロである先生のいうことを素直に聞いて、あきらめず前向きに勉強することが功を奏したと思います。

・悩んでいる皆様へ

私も TAC でいいのか、そもそも受験しようかどうか、とても悩みました。今となつては、あの時受験することを選択して、本当に良かったと思います。合格すれば一生の財産になります。この時点で宮島先生と出会っている皆様は、すでに運がいいのではないかと思います。

それでも悩みが消えない場合は、宮島先生と話してみてもいいのではないでしょうか？

[illegible]

以上ですが、大丈夫でしょうか？ また TM ネットワークでお会いできることを楽しみにしております。

猛暑が続いておりますので、どうぞご自愛くださいませ。

~~~~~

[合格体験記:●●]

私は受験にあたり、仕事や妻の出産等で、学習時間がふんだんに取れない状態で学習を進める必要がありました。そのような中でも、TACにお世話になって、1年で合格することができました。ポイントは「カリキュラム・教材」と「講師」です。

「カリキュラム・教材」は膨大な試験範囲から無駄なく、効率よく合格点が確保できる内容になっていました。私が 1 年間で利用したのは、「入門総合本科生」コースで配布された教材・答練+『合格のツボ(択一対策)』『過去 10 年本試験問題集』(TAC 出版)+TAC のオプション講座(横断セミナー、一般常識セミナー)というよう

に TAC のカリキュラム・教材のみです。

また、「講師」は宮島先生に 1 年間お世話になりました。宮島先生はテキストの内容を、とても具体的かつ整理した形で教えて下さいましたので、ほぼ講義中に理解することができました。よって、講義後は暗記カードや過去問といったアウトプットに早く着手でき、限られた時間の中で効率よく学習を進められたと思います。また、ユーモアも交えた、熱のこもった講義をしてくださることで、飽きずに楽しみながら、高いモチベーションで学習を続けることができたと感じます。

学習方法としては、基本講義の期間は「テキストを1度さっと読む(予習)」→「内容を理解する(講義)」→「講義内容をその日に振り返り、暗記カードや過去問などで繰り返しアウトプットする(復習)」ということを繰り返しました。また、ゴールデンウィーク以降の直前期にはカリキュラムで配布される答練・模試を中心とした演習教材で間違えた箇所を重点に、テキストを確認しながら、1つ1つ知識を確かなものにしていきました。こうして、TAC のカリキュラム・教材と宮島先生を信じて継続的に取り組んだことで、合格を勝ち取ることができたと思います。

社労士試験の合格率は決して高くはなく、合格するのがとても難しい試験のように思えるかもしれませんが。しかし、ポイントを押さえた教材・カリキュラムに沿って、宮島先生や同じ試験を目指す多くの仲間と諦めずに継続して取り組みれば、合格に必要な実力は確実に付きます。「やってみようかな」と考えていらっしゃる方は、臆することなく、ぜひチャレンジしてみてください！

~~~~~  
2013 年 Plus で合格させていただいた●●です。

まずは、今年も 1 年間講義お疲れさまでした！（まだ講義ありますよね）

私は合格発表まで Plus で再受講していたので、今年の仲間が気になってます。

近況報告をしますと、今年の 3 月に社労士事務所に就職し、日々役所まわりや給与計算等に従事し、忙しいけれど充実した毎日を過ごしています。実務未経験ではありますが、事務所の先輩や、TAC 宮島クラスの合格した同期・先輩(TM ネットワーク)からアドバイスを頂き、徐々にではありますが社会保険労務士になるべく奮闘しています。役所まわりで移動中は宮島先生の音声 DL フォローを今でも聴いています！実は、受験生時代には丸暗記していた部分が、実務経験してから改めて聞くと、理解できることが本当に多いです！最後に、おかげさまで 7 月の事務指定講習面接指導を終えて、「試験合格者」から「有資格者」へステップアップすることができました！宮島先生には本当に感謝してます！少しでも未来の TM ネットワークの仲間へのサポートができれば幸いです。今後ともご指導よろしくお願い致します。

~~~~~  
宮島先生

こんばんは、お疲れ様です。簡単なものですが、体験記を書きました！

「宮島先生のクラスについて」

宮島先生のクラスだったので、初めて資格の勉強を始め、不安だった私も 1 年間勉強を楽しく続ける事ができました。それは宮島先生の講義が毎回面白くて覚えやすいように工夫を沢山してくださっているからです。

約 1 年という長い期間ですが宮島先生を信じて講義に積極的に参加し、必死に勉強すれば社労士の試験は合格できます！！

「勉強方法」

私は 1 日の中で朝が一番集中できたので、早朝学習の習慣を身に付けました。予習→講義→復習→演習のサイクルを徹底して苦手科目を作らないようにしました。予習→講義でよく理解出来なかった箇所は講義の後に先生に質問しに行くようにしていました。演習では○や×になる理由を全部書き出して知識の定着を深めていました。

~~~~~  
返信が遅くなってしまい申し訳ありません。13 の●●です。

まず、宮島クラスでよかったことは、宮島先生の講義は話が面白く、またデジボがあることでイメージしやすいことが素晴らしいと思います。また暗記が必要などの語呂が面白く、くすっと笑ってしまっても本番で意外

と忘れない所も良いところだと思います。宮島クラスに集まる方は、良い方が多く、一緒に合格を目指すことができる所も良いところだと思います。

勉強法は、勉強開始から5月までは、講義後、該当箇所のテキストとデジボで復習し、テキストの章末演習問題、ミニテスト、暗記カード、合格のツボ、過去問10年分問題集を1回のみですけどやりきりました。

直前期は、実力完成答練の前に、実力テストを軽く復習してから受け、総合答練の前に軽く実力完成答練を復習していました。

長々となりましたが、宮島先生のおかげで合格できたと思っています。

講義終了後も電車の時間も気にせず質問を受けているところもありがたかったです。

宮島クラスから新たな合格者が出てくることを楽しみにしています。

~~~~~  
宮島先生

お久しぶりです。2012年合格の●●といいます。DVD 通信での合格ですが、体験記を書かせて頂きます。

私は、仕事の関係から通学ではなくDVD 通信講座を選びました。それまで社労士の社の字も知らないくらいの素人の状態から11ヶ月で一発合格を果たしました。

なぜ1年もかからず一発合格できたかと言えば、それは宮島先生の「授業の質」に尽きると思います。宮島先生は「どう説明したら生徒が理解できるか」ということに命を懸けています。その「授業の質」の高さの証拠に、私はDVD 通信講座でしたが質問電話も質問メールも一度もしたことがありません。記録を調べてもらっても結構です。なぜなら、質問をする必要がなかったからです。

これから学校を選ぶにあたり、重視すべきは「授業の質」だと思います。どの学校のどの先生を選んでも、最終的に自分が理解できれば合格できます。そして一度も質問をしなくても合格できる程完成度の高い授業をされ、それでも日々より良い授業のために弛まぬ努力をされている宮島先生の講座を強く推薦します。

1年前を思い出すと、本当に昨年合格できてよかったとしみじみ思います。宮島先生のおかげです。ありがとうございます。また懇親会等でお目にかかるのを楽しみにしています。これからも先生の講義を応援しています。

~~~~~  
宮島先生

ご無沙汰しております。12 ●●です。合格体験記を下記に記します。ご査収ください。

“世間に認められる資格を取ることで、人事労務領域における自身の市場価値を高め、社会にインパクトを与える仕事がしたい”、これが社労士受験を志した理由です。やるからには一発で合格する、そう心に決め、いろいろな学校を比較しましたが、フォロー制度が充実していること、都内各所に拠点があり交通の便がいいこと、合格者数が多いことが決め手となり、TACを選びました。

宮島先生のクラスを選んだのは本当に偶然だったのですが、先生はややもすると難解で取っつきにくい法律をまるでドラマを見せるように教えてくれ、本当に楽しく勉強ができ、とても感謝しています。クラスの懇親会で友人もたくさんできて、辛い時もお互い励まし合いながら切磋琢磨できたことが一発合格につながったように思います。合格後は社労士資格を活かして希望の会社に転職することができ、現在はやりたい仕事に打ち込める忙しくも恵まれた毎日を送っています。また、TAC 仲間とは合格後も交流が続いており、一生付き合える関係を築いています。大袈裟ではなく、私はTACの門を潜って、人生が良い方向に開けたと思っています。家庭や仕事など、ハンディキャップの全くない人などいません。ハンデを乗り越えて掴む勝利にこそ価値があると思います。これから社労士を志す人は、自ら勇気をもってはじめの一步を踏み出し、幸せを勝ち取ってください！

~~~~~  
宮島先生、こんにちは。12 合格者としての応援メッセージを送ります。

TAC は、講師、教材、フォロー、自習室全てが充実しています。私は土日通学しました。私は、仕事もしているので土日のいずれかが潰れてしまうため、通学中はかなり制約されると思いましたが、やはりやるしかないことと決意して通学することに決めました。ただ、勉強期間中はすごく生活のメリハリがありました。

私は、合格するまでに4年もかかったのですが、辛い時期もありましたが最後まで熱意が溢れる宮島先生のクラスでがんばりました。やる気がでないとき、宮島先生に相談したら、真剣にアドバイスをしてくれたことも思い出します。そんなこともあり悔しい思いをした分だけ、合格したときに流した涙は今でも忘れられません。また、通学することで同じ目標を持った仲間とたくさん出会えたことも一生の宝物です。

~~~~~  
宮島先生

こんにちは。12 の●●です。先日はありがとうございました。遅くなりましたが、「合格体験記」をお送りします。
今年は残暑も厳しいようです。くれぐれもお身体ご自愛くださいませ。

勉強の方法は色々ありますが、私が通学スタイルを選んだのは、仕事と両立させるために初期投資して途中でやめられないプレッシャーをかけることと、勉強に集中できる環境が必要だと考えたからです。実際に通学してみると、それ以上の効果がありました。定期的に通学することで勉強のリズムや進度の目安をつかむことができましたし、目標を共有する人々に囲まれる時間は勉強に対するモチベーションを高めてくれました。また、あの膨大な試験範囲を効率的に攻略するには、プロのサポートがないと難しかったと思います。

数ある学校の中で TAC に決めたのは、アクセスの良さ、設備や書籍類等の充実です。見学に伺った際に校舎の雰囲気明るかったことや窓口の対応に安心感があったこともポイントになりました。

受講クラスは単純に日時で選択したのですが、偶然にも宮島先生のクラスにめぐり合え、本当にラッキーだったと思います。毎回、宮島先生の熱のこもった語りとわかりやすい解説に引き込まれ、あつという間に時間が過ぎ、勉強することが楽しく思えました。初学の私にとって、「楽しい」と思えたことはやる気を出すうえで重要なことだったと思います。

また、講義で配布してくださるデジボですが、重要事項がコンパクトにまとめられているので、ノートをとる必要がなく解説に集中することができましたし、後々、記憶が曖昧になったときもデジボを見れば一目で内容や解説を思い出すことができ、本当に助かりました。宮島クラスの受講生にとってデジボはお守りのようなもので、全員、試験当日、会場へ持ち込んだはずですが。

合格したときの喜びは言葉では言い表せないほどでしたが、自分が全力をつくした時間や勉強を通じて得た知識も私にとって大きな糧になりました。勉強に費やした2年間は決して楽なものではありませんでしたが、それ以上に得るものが多い挑戦だったと思います。そう思える時間にできたのも先生の講義があったからこそです。先生、2 年間、本当にありがとうございました！

~~~~~  
こんにちは。2011 年合格の●●です。

私は宮島先生が担当する、総合本科生 Plus を受講し、晴れて難関の社労士試験に合格できました。

しかも、教室生ではなく、DVD 受講生でした。勉強を開始するとき、仕事の関係で、どうしても定期的に教室の授業に通い切れないため、DVD での受講を決めたのですが、かなり不安でした。今まで勉強したことがある分野ではなかったですし、試験までやりきれぬのか……

ところが、受講を開始したところ、宮島先生の授業がとても分かり易く、全く知識がない私のような受講生にも理解できるような工夫がいっぱいでした。

また、Plus は科目ごとにまとめの講義があり、そこでまた復習し、次にすすむ、というペースを作ることができました。理解をすると興味が湧き、更に宮島先生の授業への理解がすすむ、という好循環にのることができ、無事に試験を迎えることができました。

Plus のいいところは沢山ありますが、通常だとオプション講義になるものもついており、しかも、宮島先生の授業で受けられる、という点も見逃せません。社労士の勉強範囲は膨大であり、難関資格です。だからこそ、分かり易い、モチベーションが保てる、尊敬できる先生との出会い、これらが大切だと思います。

私は宮島先生の授業を受けることができ、本当に感謝しております。お勧めです。尚、DVD、通信の受講生は、合格祝賀会で宮島先生に初めてお会いする(DVD の授業では会っているのですが)といった不思議な体験をすることができますよ。

是非、一人でも多くの受講生が合格者の仲間に加わることを楽しみにしております。

~~~~~  
人事労務の経験も知識も全くないまま社労士になりたいと思った日から試験を舐めてかかっていた自分は本屋で売ってる一般の試験本を購入して学習を始めたもののその難解な内容と合格率の低さに……、気がつくTACの門を叩いていました。

TACにはユニークな先生がいっぱいいました。その名は宮島哲浩先生。

人間離れした早口と圧倒的な内容の濃さ。

リズムとジョークに満ちたわかりやすい講義。

慣れるまで時間がかかりましたが、慣れてしまえばそれは本当に楽しい時間となりました。

試験を受けると決めた時から、絶対に受かると決めていたので講義を聞くのが楽しくて仕方ありませんでした。

そんな中、学習期間も半ばを迎えた 2010 年の年末、脳に病が見つかりました。お医者様は手術の必要性和手術後の社会復帰には時間がかかるだろうとのことでした。それでも勉強をやめようとは一切思いませんでした。絶対に受かると決めていた以上、そんなことを言い訳にするつもりはなかったからです。

手術を無事終え、退院後はよりいっそう宮島講義に集中しました。

TACの後半の講義はすべて答練です。テキストはすでにありません。宮島先生はテキストにかわるレジュメを縦横無尽に駆使して解説をしてくれます。難解な問題も図とマシニングのような解説で次々とクリアな解答に導いてくれます。

そうして迎えた試験当日、レジュメだけを貼りつけたノート一冊を持って会場に臨みました。

試験は孤独です。学習期間中のそれなどものとしめない孤独の中で問題と向き合わなくてはなりません。

そんな自分を負けない気持ちにさせてくれたのは、頑張ってきた合格への強い思いや学習をあきらめなかった自分の努力、そしてなにより講義をしてくださった先生を思い出すことでした。

そうして、迎えた 2011 年 11 月 11 日、合格発表の日。

官報に自分の受験番号が載っているのを見つけた瞬間、すべてが報われました。

迷惑をかけた家族、そしてどんな苦境に陥っても、たとえ投げ出したくなくても、絶対に諦めない心を養ってくれた宮島クラスのおかげでした。感謝しています。

受験のために支えになってくれる人を探すなら、TACの門を叩いてみてはいかがでしょうか。

~~~~~  
これからのみなさまへ

社労士試験は運だ！と、よく言われます。

もしホントにそうなら、宮島先生に出会えたあなたは、すでに相当運がいい。と、思い込んでみましょう。

宮島先生の素晴らしさ云々は、他の方が書いてくれると思うので、ちょっと違うお話。

H22 の初めての本試験に択一1点不足の不合格となり、報告メールを先生に送ったところ、すぐに返信をいただきました(先生はまめな方です)。

そこには、驚愕の一文が

”これから1年の勉強はけして無駄にはなりません”

(『無駄にはなりません』との打ち間違え…)

むっ……無駄になる？……のでしょうか？

不合格で落ち込んでいた私を笑わせるために、先生はわざとこんなふうに書いてくださったのだと思い直し、二年目も宮島クラスにお世話になることに。

私が一番好きだったのは、「デジボ」でも「足トントン」でも、ましてや「あの髪型」でもなく、土曜日渋谷クラスの空気です。本気にさせてくれる何かが、あの教室にはありました。

そして、H23 は無事合格。

TACの2年間は無駄ではなく、合格も不合格もいろんな意味で勉強になりました。

人間、よい思い込みは大事ですね。

P.S. 受験生のころ、よく神様にお願いしていました。

”私が合格するまで、宮島先生が死にませんように！”

合格した今も、お元気で活躍されますようお祈りしています。

~~~~~  
合格まで3年かかりましたが、3年目で初めて宮島先生の総合本科を受講しました。宮島先生の情熱講義でわかったのです！！

合格のためのポイントが！！迷路に入っていて、「暗記してしまえ！！」と思って理屈や背景がわからなかった不得意科目の疑問点が、わかったんです！！58歳の私でも！！

なぜわかったのか？宮島先生が受験生の理解しにくい項目、勘違いしている点を熟知しているからです。
だからデジボにわかりやすく、講義ではより力を入れて、こちらから質問しなくても、日ごろから私が疑問点に思っていた点、いまいち理解できなかった点が理解できたのです。
何度も思いました「そーだったんだ！！」「なるほどね！」
先生の声、ボディアクション、靴を踏み込んで強調された点、今でも覚えています。
受験生の皆さん大丈夫です。しっかりと宮島先生の講義を聞けば必ず合格の栄冠は手にできます。頑張ってください。

~~~~~

宮島先生の授業の特徴は何と言っても「明快」そのものです。  
複雑な法律も、わかりやすく図解してくれたり、例題を出して初学者でも理解できるように解説してくれます。  
何と言っても、宮島先生独特のゴロ合わせや、「宮島スペシャル」と称した計算式の効果は絶大！無理に覚えなくても、なぜか頭に残るのです。試験の緊張した状態の中でも、一発で答えを導き出せました。  
また、宮島先生は熱く一生懸命に指導してくれます。どう勉強していいかわからない上に、仕事も忙しく、勉強との両立に悩んだ直前期に、試験までの残り時間の勉強方法を相談しました。間髪入れずに的確な答え。「今のあなたには〇〇！そして△△だけはどんなに忙しくても押さえるように！」その言葉を信じて、試験直前まで頑張った結果、見事合格できました！  
宮島先生のおかげで1発合格ができたと思っています。宮島クラスで勉強できてよかったです。

~~~~~

民間企業の人事部門で働いていることから、社会保険や労務の法律を体系的に身につけたいと思ったことが、社労士を志したきっかけです。
仕事と勉強の両立を図りながら、合格してからも役に立つ「脳に残る勉強（＝本物の知識を身につける）」をしたかったため、独学ではなく、合格実績の高いTACの講義を体験受講してみました。
TAC講師陣の熱心さ、テキストの完成度の高さ、教室の立地条件の良さ等から、TAC社労士講座への申込みを体験受講の日に即決しました。
法律の勉強の初学者であった私が試験に合格し、身につけた知識を仕事に役立てられていることは、担当の宮島哲浩先生をはじめ、宮島クラスで出会って助け合った仲間達の支えがあったからと感謝しています。

私が試験勉強を通して気がついた、合格のポイントをお伝えします。

合格するには次の三点が肝心です。

①合格のために必要な知識の仕分け

宮島哲浩先生の講義は、過去問を徹底的に分析されたデータベースを基にした試験の傾向と対策を的確に踏まえた内容となっていました。

本試験で正答率の低かったいわゆる難問であっても、初見ではなくて落ち着いて解くことができました。

②図表を使ったインプット

社会保険の給付内容は多種多様なため、条文を読み込むだけでは、一時的な記憶になってしまいます。

宮島哲浩先生の講義中に配布されるレジュメには、図表が多く織り込んであったため、視的なインプットをすることができました。

③勉強仲間との出会い

宮島哲浩先生のクラスでは、定期的に飲み会が開催されていたため、多くの勉強仲間と出会うことができました。長丁場な試験勉強では、同じ目標を持った仲間との切磋琢磨が、とても役に立ちます。

試験合格後も、有志で定例の勉強会を開催されており、情報交換のコミュニティが創られており、私にとって大切な“財産”となっています。

~~~~~

初めて宮島先生の授業を受けた時にはなんて早口な先生なんだろう！

とついていけるかなと不安でしたが、慣れると復習する時は1.5倍速にしても無理なく聞けるようになります。わかりにくいところや特に大切なところはデジボ(レジュメ)に図解付きでまとめてあり、これはテキストの余白に貼ることができるサイズでできているので、サブノートが要らず全てをテキストに集約でき、復習する時あれこれ手を出さなくてもすむので時間短縮になりました。また私はPlus(通学)でしたので計算セミナーが通常コースに

含まれていました。10年の厚生年金(選択)は計算問題でした。救済が入るくらいまわりができない中この時におさらいした宮島スペシャルのおかげで私は得点できたと思っています。Plus にしてよかったです。

11も12もこれからたくさんのTMファミリーが増えますように！

~~~~~

宮島先生

10の●●です。宮島クラスで受講した正直な感想を記載させていただきます。

合格体験記に使えるのであれば使ってください！

~~~~~

初学者の私はテキストを読んでもちんぷんかんぷん。

宮島先生の講義は、分かりやすいレジュメと板書があり、毎回頭の中がスッキリ整理されていきました！

初学者が最短で合格する勉強法のアドバイスもあり、初学で時間がない私でも効率よく学べました。

リズムカルな講義は、長時間にもかかわらずあっという間に時間が過ぎ、一度聞いたらくせになります♪

もちろん内容はかなり高度なものになるので集中力が必要になりますが、最後までしっかり聞くことができれば問題なく理解ができます。

宮島先生の講義を聞いた後に過去問を解くと、自分の理解度も確認でき、講義の内容がより確実に理解できるので是非オススメです！

~~~~~

宮島先生

●●と申します。

ご無沙汰しております。

2010年日曜日(池袋クラス)にて1年間大変お世話になりました。

お役に立つかわかりませんが、合格体験記を送らせて頂きます。

~~~~~

早いものでもう試験直前とのことですが、受講・勉強していたことを昨日の事のように思い出されます。

私は、2009年の6月に突然社労士の資格に興味を持ちましたが、自身の性格上通学しないと気持ちが続かないと考え、資格学校を調べました。

その中でTAC・宮島先生の評判が抜きん出ている事に気がつき、出遅れてしまったのではないかと焦りつつ急いでTACに電話したことを覚えています。

受講生の多さにも刺激を頂きましたが、とにかく引き込まれる先生の講義により辛いはずの勉強も苦にならず仕事と勉強の両立ができました。

特に本試験では、正常ではない精神状態で臨む事になりますが、問題を解きながら先生の講義(特に語呂合わせ)やデジボが頭に浮かび奇跡的に初年度で合格を勝ち取ることができました。

今にして思うことは、春ごろになると始まる答練時期に思うような成績を残せずに2年目も頭をよぎりましたが、素晴らしい先生と教材を信じてひたすらテキスト中心に進めたことが大きかったと思います。

先生の一言一言、そしてデジボは今でも頭に残っています。

ちなみに職場の自席には、デジボが貼られた全テキストが置いてあり今でも大活用しています。

皆様も宮島クラスにて素敵な一年となりますようにお祈りしています。

~~~~~

宮島先生のクラスは、先生のお人柄もあって、とにかく教室の雰囲気が明るく毎週TACに通うのが楽しみでした。先生の講義はテンポが良く、分かりやすく、また大事な論点は基本講義や答練を通じて何度も繰り返し説明して下さるので記憶に残りやすく、理解が深まりました。社労士試験は、科目が多く範囲が広いので、一度覚えた事を忘れてしまう事もしばしばありますが、先生の講義に出席していれば、そんな事もフォローして頂けるので安心です。

使用した教材は、TACで配布された基本テキスト、過去問、暗記カードのみです。

私はこれだけで十分だと思います。勉強していて不安になると他社のものが気になると思いますが、手を広げず、同じ教材を何度も繰り返す事こそ、基礎力が身に付き、合格への近道だと思います。テキストは、過去問はピンク、答練出題箇所は緑とマーカーで色分けし、書き込みやデジボを貼り情報を一冊に凝縮しました。択一式過去問を解く時は、常にテキストを横に置き周辺論点の確認をしました。また問題のひとつひとつの肢の分析をし、どこが正しいのか、間違っているのかを把握する作業も重視しました。選択式対策には、テキスト

の精読をし、試験直前には暗記カードを使用しました。私は、択一式、選択式は、全く別のものと捉え、直前期はバランスよく勉強時間を配分する事を心がけました。

答練や模試は、勉強の進捗の目安として捉え、成績よりも受ける事の重要性を感じました。そして復習には時間をかけました。

社労士試験は、ある程度時間をかけて勉強すれば、合格できる試験だと思いますが、どうせやるのであれば短期間で合格した方がいいに決まっています。中には独学で勉強される方もいらっしゃいますが、やはり専門学校に通いプロの先生に習うのが一番だと思います。

宮島先生には、熱心にご指導頂いた事に感謝しています。先生の「ひとりでも多くの受講生を受からせたい」というお気持ちが常に伝わっていました。そして勉強をするにあたり、最も大切な事は、「どうしても受かりたい」という強い気持ちを持ち続ける事です。思いがあれば、必ず道は開けます。私のそんな思いが、宮島先生を引き合わせてくれたのかもしれませんが。

~~~~~

こんばんは、10の●●です。

先日は久しぶりにお話が来て、嬉しかったです。

最近自宅のPCを立ち上げていなかったで、メールを確認するのが遅くなりました。

すみません、遅ればせながら合格体験記を送信いたします。

私が想像していた社労士の受験講座は、地味なおじさん講師が条文をだらだら読んで解説している・・・そんなイメージでした。そんな時、たまたまTACの体験受講で宮島先生の講義を聞いて、その分かりやすさに感動しその日のうちに申込みをしました。

初学者でも挫折しないようにかみ砕いて説明してくださり、長時間でも飽きさせない展開の講義で毎回受講が楽しみでした。

宮島先生のクラスでなかったら、途中でやめてしまったかもしれません。

もし、難しそうだから・・・と受験を躊躇している方がいたら、ぜひ一度宮島先生の講義を聴いてもらいたいと思います。それが合格への一番の近道です。

~~~~~

宮島先生

宮島先生から告知いただいた『宮島クラスで学んで良かったこと』ですが、遅くなりましたがまだ間に合いますか？とりえず送信させていただきます。過不足ありましたら、適宜お直しください。

宮島先生は、熱意のこもった講義も勿論ですが、講義時に配布されるデジボが素晴らしいです。

小さな図の中にテキストの要点がぎゅっと詰め込まれており、情報量満載ながら、一目で内容がわかります。テキストの余白に貼り付けることができ、復習時にテキストを開くとパッと目に飛び込んでくるので瞬間的に内容を思い出せます。

また、先生は細かな部分でも手を抜くことなく解説してくださるので、テキストは全部押さえた！という安心感がもてるのもお勧めポイントの一つです。

講義は少し早口ですが、聞き逃さないように集中して講義を聴くことができるので記憶に残りますよ。

~~~~~

お疲れ様です。10の●●です。合格体験記を送付します。

~~~~~  
とうとうこれを書くときがやってきました。

ガイダンスのとき、もらったことを思い出します。

宮島先生の授業は図(デジボ)を使った説明が多く、むずかしいことを簡単にしてくれます。これが最大の特徴で通信でも教室講義と変わらない図(デジボ)をつかった説明は理解しやすいはずです！！

最初は、講義のテンポが速いと感じるかもしれませんが、2、3回聞くとすぐに慣れてきてずーっと話の内容が入ってくるようになります。

僕がやっていた勉強方法の1つを紹介します。わからない箇所があったときは、その箇所で先生がどういう説明をしていたかを思い出しながら、先生の口調を真似して、図(デジボ)を見て何回も声にだしていました。そうすることでだんだん理解できるようになりました。

みなさん、迷っているくらいなら挑戦してみてください。新しい可能性が広がります。

宮島先生を信じて受講してみてください。きっとすばらしい結果がついてきますよ。

~~~~~  
 “参加型で眠くならない講義が最大の魅力”

理解重視の講義が本番での実践力につながりました。社労士試験は学習範囲が広く丸暗記では対応しきれません。

宮島先生の講義は、単にテキストの内容を解説するという一方的なものではなく、受講生に考えさせたり、イメージをさせながら理解へとつなげる“参加型講義”でした。

この“参加型講義”により、知識をインプットする際にしっかり理解することができたので、問題を解く際にも「～だから答えはこうだ！」と自信を持って解答することが出来ました。また、宮島先生は、声に抑揚をつけるだけではなく時には全身を使い？！アクティブなので緊張感が保たれ眠くならないのも魅力です。

TACのカリキュラムは、インプットからアウトプット、基礎から応用と学習の流れがしっかり構築されていますので他の教材へ目移りすることなく、安心して学習を進めることができます。

これから社労士試験にチャレンジされる皆さんにはTACのカリキュラムと講師を信じて合格を勝ち取って頂けるものと思います。

~~~~~  
 宮島先生

いつもお世話になっております。毎日、暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

間もなく、第43回社会保険労務士試験ですね。

今年も宮島クラスより一人でも多くの合格者が生まれることを祈念しております。

さて、宮島先生の講義の素晴らしさを享受させていただいた身として感謝の気持ちを含めて振り返りました。改めて、合格まで諦めずに継続出来たのは宮島先生のお陰と感謝しております。

思い出すこと数年前、無料説明会後の体験講義・・・個性的な雰囲気先生の先生？？？

「大丈夫か？」と感じながらも、あつという間の講義タイム・・・労働基準法 第一回目

『なんて面白い！！』『この先生、最高！！』＝宮島先生と受講を決めました。

息をもつかせぬ見事な質の高い講義内容に一目惚れです。

聴いていてワクワクしました。(友達と二人で盛り上がりました。)

職業柄、労働法は著名な諸先生の講義・研修を受けますが、宮島先生の講義は具体例が盛りだくさん。

その上、イメージ化し右脳に働きかけることで記憶も定着しやすくなるのかも・・・リズムもメリハリがあり集中力も継続することが出来ました。

つまらない法律(失礼^^;)のお勉強を払拭するものです。

これが、労働基準法に始まり、労働法科目、社会保険科目、一般常識の全科目、講義を受けることで、どんどん興味関心が深まり社会保障の意義の理解も深まり仕組みにも関心を持つことが出来ました。

合格するまで諦めずに継続することが出来たのも、何度聞いても『気付き』があり、毎回、必ずバージョンアップされる宮島先生の教えることに対する熱意と誠意のお陰と感謝しております。

1人でも多くの社会保険労務士の仲間が増えることを期待し、お勧めいたします。

2009年合格 秋

~~~~~  
 宮島先生

こんにちは。07 合格の●●です。

先生は、お変わりなくいつまでも素敵ですね！（ホントに不思議なくらいです。今度、秘訣を教えてください♪）

さて、早速ですが、私の合格体験記をお送りしますので、よろしければ、これから勉強を始めようと思っている方々のご参考にしていただければ幸いです。

私は仕事をしながらの通学でしたが、宮島先生のおかげで1年目で合格することができました。

宮島先生の講義は要点をまとめた資料を授業前に配布してくれるので、板書の内容をノートに書き写しているうちに内容を聞き逃してしまった！なんてことはありません。

私は仕事も忙しく、勉強のための時間をあまり取れなかったのですが、授業前に予習はしていきませんでした。宮島先生の説明はとてもわかりやすく、初学者の私でもスムーズに理解することができました。

(但し、予習はしませんでした、できる限り復習は行いました。なかでも、できなかった問題を繰り返し復習しました。)

時間もなく、暗記も苦手な私が1年目に合格できたのは、宮島先生のおかげです。

(数字の暗記も宮島先生のオリジナルゴロ合わせのおかげで覚えることができました。)

宮島先生、本当にありがとうございました。

受験生時代は、精神的に苦しく、何度かもう無理かも・・と思いましたが、先生がいつも授業で「まだ今から頑張れば大丈夫だから」と私たちを励まして下さったので、最後まで頑張ることができました。

一人でも多くの方が、先生の講義をきいて合格できますように！

~~~~~

宮島先生、こんにちは。

10●●です。

合格体験記のようなものをちょっと考えてみました。

稚拙な文章ですがお役にたてれば幸いです。

~~~~~

2度目の受験で、無事合格することができました。

これも、2年間宮島先生を信じて頑張ったおかげだと思っています。

宮島先生はいつも私たち受講生の顔を見ながら講義をされる先生です。

知識の詰まった内容の濃い講義ですが、わかりやすいデジボと丁寧な説明で、私でも講義についていくことができました。講義後の質問にも、こちらが理解できるまで熱心に教えてくださいました。

宮島先生の講義を受けたら絶対に理解できる！！という安心感が、簡単とはいえない試験勉強をあきらめずに続けられた理由のひとつだと思います。

また、宮島先生のクラスはとても雰囲気がよく、懇親会の開催等受講生同士の交流の機会もありました。仲間ができることでモチベーションアップにつながるし、情報の共有もできました。

合格して社労士として登録した今でも受講生時代に出会った仲間たちは私の宝物です。

社労士試験は国家試験の中でも合格率が10%前後の難関試験ですが、TACと宮島先生を信じて努力あるのみ、そして努力は必ず報われるということ、身をもって経験しました。

追伸:年金アドバイザー、受けてみようかなと思ってます。受付で宮島先生に勧められた！とアピールしてきます(^▽^)

~~~~~

宮島先生

こんばんは、07の●●です。

標記の件、遅くなりまして大変申し訳ありません。

以下に作成しましたのでよろしくお願いします☆

~~~~~

私はどうしても1年で合格したいという強い気持ちがありました。

それは、毎年法改正が入ること、そしてプライベートや睡眠を削っての勉強は体力的にも1年が限度かなと思ったためです。

そこで学校に通うことを決め、一番合格率の高いTACに決めました。

次に先生の選択ですが、「宮島先生の講義が一番いいよ」という噂を聞き宮島先生の講座にしました。

初日の講義を受け、これは当たり！と確信しました。

宮島先生の講義のポイントは以下の3点です。

1. 明快かつ的確で試験に必ず出る、出る、出る可能性ありと、重要度が分かる。

また過去にどのように出題され、今年はどういうように出題される可能性があるかと教えてくれる。

2. 法的に解釈が難しいものでも、噛み砕いて図などで説明してくれる。

3. なぜそういう法律になったのか等、根拠や経緯を説明してくれ単に暗記にならない。

つまり、重要度が分かり、かつ説明が明快で理解が深まる(単に暗記にならない)ということです。

私は宮島先生のおかげで無事に1年で合格することが出来ました。

先生の講義を受けていなかったら合格は出来ていなかったと思います。

私と言えることは1つだけです！

「宮島先生の講義」と「合格するという意志」があれば必ず合格できます。  
 ですの強い意志をもって宮島先生の講義を受けて是非合格してください。  
 健闘をお祈りしています。

~~~~~

10の●●です。

宮島クラスで勉強して良かったこと、それはレジュメである「デジボ」の存在と超熱心な講義です。

まずデジボですが、テキストを最初に読んだ時には難しく感じた法律も、宮島先生の情熱を注いだ「デジボ」を参考にすると難解な法律も理解しやすくなり、しかも記憶に残りやすいので、復習の際に大変役立ちました。デジボは縮小しても見えるので、テキストに貼れるので便利です。

また、重点項目は「これでもか！」というくらいの時間を割いて、丁寧に説明していただけたので、例えば厚生年金の高在老・低在老・・・など一見？な箇所でも聞いているうちに「なるほど！」と理解できていきます（もちろん、予習・復習をやったのことですが）。

また、同じクラスになった縁を大事にする宮島先生は、飲み会を開催してくれます。

ここで新たな出会いもあり、苦しい時期を一緒に乗り越えていける仲間ができます。

~~~~~

宮島先生

こんばんは。09●●です。

さて、宮島先生からのご依頼について、返信が遅くなり申し訳ございませんでした。

簡単ではありますが、下記の文面にて合格体験記とさせていただきます。

社労士を本気でチャレンジし、しかも、絶対に合格したいのであれば、自信を持って宮島クラスをお勧めします！その理由は、宮島クラスにしかない3つの特典があるからです。

#### 特典1. 圧倒的な情熱

TACの中で5名の先生の授業を経験しましたが、宮島先生の講義が最も分かりやすく、集中できました。それは、宮島先生から受講者への情熱を強く感じられたからだと思います。

#### 特典2. 絶対に理解できる講義

TACで配布する教材以外に、宮島クラスオリジナルの補足資料(デジボ)があります。このデジボは、合格するための重要事項が分かりやすく端的にまとまっているため、テキストを読む時間を少しでも減らして効率的に学習することができました。テキストの予習⇒宮島先生の講義⇒デジボで要点チェックにて、知識を定着させることができ、初学でゼロからスタートし、かつ、仕事が多忙で十分に学習時間を確保できなかった私でも一発で合格することができました。

#### 特典3. 幅広い合格後の人脈

見事に合格すれば、宮島先生主宰の勉強会があります。

世代や分野を超えたバラエティ豊かな方々と交流することができ、とても有意義です。

宮島先生のクラスで共に頑張った方々ばかりなので、勉強会の雰囲気が抜群によく、楽しみながら知識を深めることができます。

ぜひ、宮島クラスを選択し、合格を掴み取ってください！！

~~~~~

宮島先生へ

09年度、10年度にお世話になりました、●●と申します。

表題の件につきまして、大変遅くなりましたが送付させていただきます。

何かのお役にたてば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

<以下、宮島先生の講義を受講しての感想です>

私は08年度は横浜校の速習本科を受講、09年度に横浜校の総合本科で初めて宮島先生にお世話になりました。10年度は主に渋谷校で直前期のみ講義を受講させていただき、この年になんとか合格することができました。

宮島先生の講義は、とても分かりやすいレジュメ(デジボ)が準備されていたので、板書に夢中になって話を聞き逃すということがなく、講義中は内容を理解することに全力を注ぐことができました。

また、講義においては、毎回先生の「熱意」をひしひしと感ずることができました。

どんなに講義の内容が難しくても、模試の点数が悪くても、モチベーションを落とすことなく、苦しい日々を最後まで走りぬくことができたのは、先生の「熱意」のおかげではないかと思っています。

分かりやすく丁寧に、そして熱意をもって教えていただけたこと、本当に感謝しています。ありがとうございます。宮島先生の講義を通して、多くの方にも同じ感動を味わっていただけたらと思います。

~~~~~

宮島先生、こんにちは。

新宿校・渋谷校でお世話になりました10合格の●●です。

今年の本試験も終わり、一段落…ともいわずに、相変わらずお忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、お身体にはくれぐれもお気をつけください。

私事ですが、6月に出産致しまして、育児に追われる日々ですが、実際に育休当事者になり、健保や雇用保険等、社労士の勉強をしておいて本当によかったと思っています。

その節は大変ありがとうございました。

さて、ご依頼いただきました合格体験記ですが、大変遅くなってしまい申し訳ありません。

もう締め切ってしまっていたらすみません。

当時の感謝の意も込め、簡単ではありますが、投稿させていただきます。

社労士の資格を目指す事となり、何気なく、TACの社労士講座の無料体験入学に足を運んだところ、そこで講師をされていたのが宮島先生でした。

無料体験入学という事もあり、何の気構えもなく教室に入ったら、その教室は既に満席で、驚きもつかの間、講義が始まると、その理由はすぐにわかりました。

リズムのある講義に吸い込まれるように聞き入り、あっという間に休憩時間になったのを、今でもはっきり覚えています。その後、宮島先生の講義が、毎回楽しみになったのは言うまでもありません。

結局私は、2年間宮島先生のお世話になる事になったのですが、その間、どんなにくだらない質問にも、丁寧に答えていただいたり、テンポの良い講義の中に、ちょっとくだらない?ゴロ合わせがあつたり、何といっても、色んなところに出てくる「宮島スペシャル」。

すべてが、本試験で力を発揮してくれました！

宮島先生の講義が受けられて、本当に良かったと思っています。

これからも、多くの受講生に、宮島先生の吸い込まれるような講義で、合格を掴んでほしいと思います。

~~~~~

(長すぎてすみません…笑って読み流してください)

TACのWebサイトで、社労士のガイダンスを見て、宮島先生に引き込まれてから、1年間、TACと宮島先生だけを信じて、勉強に励みました。

最初は、教室で5時間(日曜クラス)も、座っていられるのか?という勉強とは違った不安から始まり、ミニテストや答練では、惨敗。模試に至っては、回を重ねるごとにランクが下がっていく…という「合格」とは程遠い、苦しい一年を過ごしていました。恥ずかしながら、とても丁寧に解説をしてくださっている内容が、聞いているときには、理解できたつもりになってしまうのですが、問題演習をすると、まったく理解できておらず、しかも、何がわからないのか、自分でもわからなかったのです。先生にどう質問していいのか?こんなこと質問してもいいのか?社労士の問題以前に、問題文の日本語の意味がわからない…。なんて、言ってしまうていいのか??

と、散々悩みましたが、ある日、授業終了後先生が話しかけてくださり、勇気を出して、質問してみました。きっと、先生も「この子、何言ってるんだろうな?」と思ったに違いありません。

それでも、一生懸命、質問のはしっこから、小さく問題を切り崩して、丁寧に答えてくださり、最後には「わからないことをわかってもらうために私がいるんですよ」とおっしゃってくださいました。何があっても先生についていこう!と決めた瞬間です。

学生時代から、机に向かって勉強をしたことがなく、今まで何もかも中途半端で、諦め癖がついていた私が、試験当日まで諦めずにTACの教材のみで勉強を続けていたのは、本当に宮島先生への信仰だったのかも知れません。

宮島先生に出会ったみなさん、TACと宮島先生を信じていれば、必ず合格は勝ち取れると思います!来年の夏、先生とがっちり握手ができるようお祈りしております。

(おまけ)

過去問に手がつかないというお悩みの方へ

過去問は5回くらいやりました！とか、過去問に出てくる問題は完璧に解けるようになりました！とか、インターネット上で当たり前のようにならされていきました。

が、私は過去問がまったく解けず、試験形式の問題に拒絶反応がでてしまい、2科目くらいで挫折。

先が思いやられる・・・と思った私は、過去問には手をつけず、問題が一問ずつ個別になっている、『合格のツボ(択一対策)』のみを大活用しました。

最終的に、TACからいただいた、5年分の過去問をやったのは、試験1週間前に各年、1回ずつのみでした。そのころには、愛読書にしていた「ツボ」のおかげか、スムーズとはいかないまでも、一通り冷静に問題に目を通す力がついており、不思議と理由つきで答えを選んでいけるようになっていました。過去問が解けない！と思ったら、「ツボ」をお勧めします！！

~~~~~

宮島先生、こんにちは。今年の社労士試験ももうすぐですね。

私は、今月から会計事務所に転職し、新しい環境に慣れるため必死です。今後、徐々に顧問先の給与計算や労務相談の対応をしていくようなので、いざという時に困らないように手続きや助成金の勉強もしていかなければと思っています。

さて、昨年の合格体験記ですが、お送りさせていただきます。

#### <合格体験記>

私は3回目での合格なので、これから勉強を始める方にとって役に立つかわかりませんが、参考にいただければと思います。

受験にあたってよかったと思うことはいくつかありますが、次の3点が大きかったと思います。

まず第一に、勉強仲間を作ることの大切さです。教室でいきなり知らない人に話しかけるのは難しいので、先生が懇親会を主催してくれたときは、必ず参加するほうが良いと思います。できれば、実力テストの上位に入るような人と友達になると、会話の中で、勉強の仕方や問題の考え方など参考にできることが多くあります。また、良い意味でのライバル意識を持つことで、モチベーションアップにつながります。8月の最初に授業が終了してしまい、試験までの約1ヶ月間は孤独な勉強生活になりますが、そんなときに勉強仲間がいると心の支えになります。(これはかなり大きいです)

第二に、勉強の仕方です。通常は、予習はしなくても良いから復習をしっかりしなさいと言われていたのですが、私は予習派でした。授業の前にテキストを一通り読んでおくと、何について話されているのか流れがわかりますので、先生の授業に集中できます。授業を聞いても理解できなかったところや、新たに出てきた疑問点は、授業の後にその場で解決することができます。

宮島先生の授業はアクションが大きいので、授業中にテキストはあまり見ずに先生を集中して見ていると、音声とアクションの両方からのインプットで、強烈に記憶に定着します。(実際に問題を解いているときに頭の中で先生の声とアクションがぐるぐるしているときがあります。)

第三に、過去問はぜったいに解くことです。前の2回の受験のときは、仕事が忙しくてとても過去問まで手が出せずにいましたが、3回目の受験の時は、直前期はテキストはほとんど見ずに、実力テスト、答練、過去問だけを何回も解くようにしました。テキストをしっかり読んで理解を深めてから過去問など解きたくなりますが、これだと直前で時間がなくなってしまう。(過去2回の私の不合格はこれが原因だと思っています)あとは択一式を解くときは、〇〇だから合っているとか理由を考えて、理由を含めて回答が合っているかを確認しました。

以上、だらだらと書いてしまいましたが、少しでも参考になるところがあり、勉強に役立つことができれば幸いです。

~~~~~

宮島先生

ご無沙汰しております。●●●●です。TMネットワークのメールを拝見しました。お役にたてるかわかりませんが、私の体験記をお送りいたします。

私は、仕事の関係で、平日夜(新宿)と日曜(池袋)の宮島先生の講義を受けて、1年目で合格することができました。

勉強を始めたばかりのころは、耳慣れない言葉や言い回しも多く、テキストを読んでも、すんなり頭に入らないこともあり、不安に思っていました。宮島先生の講義では、テキストの重点項目等をとてもわかりやすく、整理して説明してくださるので、初学者の私でも理解することができました。

難しい箇所は、講義の中でも繰り返し説明してくださいます。

仕事と勉強の両立で、挫折そうになることも多々ありましたが、宮島先生の「まだまだ、これからでも大丈夫ですよ！」というお言葉に、何度も励まされて、本試験まで頑張ることができました。

合格後は、やりたかった人事の職種に転職することもできて、宮島先生に、心から感謝しています。

(ちなみにTACのテキストは今でも、会社で虎の巻として使っています。)

皆さんも、社会保険労務士の合格に向けて、是非、頑張ってください！

今年の本試験もいよいよ来週の日曜日ですよ！宮島先生が試験直前にくださった鉛筆は、いまでも私の大切なお守りです。(本当にありがとうございました。)

~~~~~

宮島先生

こんばんは。池袋日曜クラスを受講しておりました、●●●●と申します。

合格体験記募集！とのことでしたので、私も体験記(というほど立派なものではなくてすみません...)を書いてみました。書いていて、これからはじめる人向けには、こんなの使えなさそう...と思ってしまいましたが、ボツ覚悟でお送りさせていただきます。

私のようなできの悪い生徒でも、先生の魔法にかかれば、ギリギリでも合格することができるんですよ！と、ぜひぜひ暗示してみてください(笑)

先生のクラスから、多くの合格者がでますように！！

毎日暑い日が続きますが、お体ご自愛くださいね。それでは、失礼します m(\_ \_)m

追記

再来週、●●さんと一緒に事務指定講習に参加してきます。

久々に、TACのみんなとも会える予感で楽しみです。

~~~~~

宮島先生

こんばんは。●●●●●です。

遅くなってしまい申し訳ありません。

簡単ですが、私の体験記が参考になれば嬉しく思います。

★体験記★

私は一発合格したかったためTACに通いましたが、それが合格のカギになったと思います。

社労士試験は範囲が広いので、要領よく勉強していかなければなりません。

その点、宮島先生の講義はどこが重要なのか、本試験ではどういう引っ掛けをしてくるのか、また参考例題等も示してくださり、本試験合格に直結したものだと思います。

一発合格されたい方は是非是非TACのカリキュラムを信じ、先生の講義について行ってください。

眠い時、友達と遊びたい時、疲れている時など色々あると思いますが、合格した後の自分を想像し頑張ってください。皆さんが来年合格することを心からお祈りいたします。

~~~~~

●●●です。合格体験記メモを送ります。どうぞご活用ください！

社労士合格の秘訣は、なんと言っても「モチベーションを高く持つこと」と「問題を多く解くこと」です。社労士合格のためにTAC(資格の学校)を選ぶことは最も効率的な選択肢です。なぜなら、合格へ向けたスケジュールと最新のテキスト・最良の講義がすでに用意されているからです。あとは、本人のモチベーションを高く保つことと、問題を解くというアウトプットの量を他の受験生以上にやりきることです。

宮島クラスであれば、大勢の仲間達と受験日まで高いモチベーションを保つことができるので、後はとにかく問題を数多く解き、自信をもって受験するだけです！皆さんの合格を心よりご祈念します！

~~~~~

宮島先生 こんにちは。●●です。

今年度もいよいよ本試験が迫ってきましたね。一年間、講義お疲れ様でした。

合格体験記とのことで、少しでもこれからチャレンジされる方への参考になればと思い、遅くなりましたがご連絡させていただきました。

私は3年間、宮島先生にお世話になりました。

この勉強を始めるにあたっては、不安でなかなか気持ちが固まらず一歩が踏み出せなかったことをよく覚えています。誰でも新しいことを始める時って、少し勇気が要りますよね。法律の勉強もしたことがないし、資格試験のために学校に通うのも初めてのことで不安でいっぱいでしたが、そんな気持ちはすぐに消えました。

まず、先生の講義はとてもわかりやすく、毎回新しい知識が頭に入ってくることが楽しくなりました。

そして、当初は全く予想していなかったことでしたが、励まし合い、よい刺激を与えてくれる大切な仲間たちにも出会えました。

仲間の存在は想像以上に大きく、勉強中はもちろん、合格した今も大切な存在となっています。

今迷っている方や不安な方もいらっしゃると思いますが、大丈夫です！合格までは簡単な道のりではないかもしれませんが、でも、なぜこの勉強をしようと思ったのか、その最初の気持ちさえ忘れなければ、きっと頑張れるはずです。

そして、先生はもちろん、これから出会う仲間も強力にサポートしてくれると思います。

ぜひ、それぞれの目標に向かっての第一歩を踏み出して、さらなる自分を手に入れていただきたいと思います。そして、合格後、一人でも多くの方の素敵な笑顔に出会えることを楽しみにしております。

ぜひ頑張ってください！！

~~~~~

宮島先生

ご無沙汰しています。●●です。

メールが遅くなり申し訳ありません。

合格の秘訣とのことで、色々考えたのですが・・・

これといって秘訣というものが見つかりません。

ただ、入門講義が始まるまで法律なんて一切勉強したことがなかった私が一度で合格できたのは、

①一緒に頑張る仲間に出会えたこと

②TACのテキストと過去問以外に手をつけなかったこと

③試験当日は今までしてきたことに自信を持って冷静に取り組めたこと  
だったと思います。

ありきたりなことでごめんなさい。

飲み会を通じて一緒に勉強する仲間ができ、またお互いにいい意味で意識しあえたので、良い結果が出せたと思っています。毎週一人で講義に通っていただけでは、きっと合格できなかったと思います。

一緒に勉強した仲間たちは、合格してから情報交換などができるので、ぜひ、同じ目標に向かって頑張れる仲間を見つけるといいと思います。

~~~~~

宮島先生

ご無沙汰しておりますが、お元気でご活躍のことと存じます。早いものでまた試験直前期になったのですね。

私の体験談が役立つかどうか分かりませんが、特に中高年の方の参考になればと思い、少々メモします。

私自身は長年、経理業務に携わってきたため、社会保険や労働法についての知識も経験も全くありませんでしたが、自分の世界を広げるために社労士試験に挑戦してみました。

勉強を始めるにあたっての心構えというか、心がけたことは次の三点です。

1. 定年近くになっても知的好奇心を持ちつづけること。
2. 自分の勉強スタイルに合った、信頼できる講師を探すこと。
3. 同じ目的に向かってチャレンジしている若い人達と交流すること。

実際の勉強方法として実践してきましたのは、以下のようなごくごく当り前のことばかりです。

1. 予習と復習は必ず行う。特に復習に際しては、講師の説明事項を中心にテキストを読み返しながら、過去問にあたる。
2. 疑問点は、講師への質問により、なるべく早く解消する。
3. 年齢的なこともあり、内容理解に努め、暗記には頼らない。繰り返し行われるテストの前にテキストに目を通せば、覚えようという気が無くとも、大事なことは頭にインプットされる。

講義に出席して講師の説明になるほどと聞き、講義の前後には仲間と談笑し、たまには気分転換を兼ねて飲みに行くというようなTACへの通学は私にとっては楽しい時間でした。

受験勉強を振り返って、良かったと思うことはいくつもあります。

1. 仕事と勉強の両方で充実した時間を送れたこと。
2. 講師の先生を始め、若い仲間との絆ができたこと。
3. 知識、情報量が飛躍的に増え、自分の今後の生活に役立つとともに、社会保険等に関する時事問題に興味、関心を抱くようになったこと。

大勢の方が社労士試験に挑戦され、仲間がどんどん増えることを期待して、私の体験談といたします。

~~~~~

私は交通事故の後遺症を抱えながら仕事をしている間にうつ状態になり、仕事を辞めました。

その後半年間、外に出ることも出来ずこのままでは自分がダメになると思い、勇気を振り絞ってTAC社労士講座の門を叩きました。

社労士の受験を決意したのは、生涯、自分の身体と向き合いながら社会保険事務に携わりたいと思ったからです。そして数ある受験指導校の中からTACを選択したのはパンフレットに合格祝賀会の写真や合格者のインタビューが掲載されているのを見て、今はとても辛く苦しいが、自分もいつかこの様に(合格者に)なるんだと強く心を奮い立たせてくれたインスピレーションとテキスト等の教材が他校よりも明瞭で理解しやすく、勉強を継続出来ると確信した為です。

1年目は講義に出ることもままならずでしたが、宮島先生や受験仲間に支えられ本試験までたどりついたという感じで、勉強は集中したものではなかったため記念受験に終わったという不完全燃焼。

しかし、自分にとってはここまでうつ病を抱えながら来れたことに少し安堵しておりました。その後、2年間は病気が悪化し、勉強どころではなく、いつも最悪のことばかり考えるという自暴自棄の毎日に葛藤していました。そんな中、唯一の救いが、忙しい講義の合間を縫って宮島先生から頂いた頑張れという励ましのメールでした。その甲斐あって再起を強く抱かせて頂き、翌年からスケジュールを立てて必死に勉強をしました。

講座が始まる秋10月～12月は労基に集中してテキストと過去問を解いて正月は遊び、1月～6月まではテキストを中心にインプットを何度も繰り返し、一科目終わったら新しい科目と並行しながらテキストのインプットと終わった科目の過去問の繰り返しをし、講義がある日は必ず事前に予習し、講義が終わったら復習する。私の場合予習と復習の割合は全体を5とすると3:2(予習:復習)でした。

またやる気を持続させる為に実力テストで上位に入ることを目指し、その結果を楽しみにできるように自分に気合を入れていました。

6月～は答練や模試が始まり勉強する量も増え、時間がいくらあっても足りない位に時間が進みます。今までのテキストや少量の過去問、ミニテスト等に加え答練、模試の本格的なアウトプットを今までの力でどこまで解けるか、また選択式対策もこれらの問題から反復し、模試では全体の順位を強く認識し、次の模試では更にいい結果を出すように過去問、答練、ミニテスト、終了した模試等の問題を繰り返し解いて実力をつけていきました。

本試験の直前1ヶ月は答練と過去問、実力テストを中心に1日1科目をこなしていき、最後の2週間は答練、模試、実力テスト、過去問を朝8時から休憩を挟みながら夕飯直前まで集中して行い、夕食後は一般常識セミナーや横断セミナー、一般常識の問題など一般常識対策に時間を充てて夜11時ごろまでやり、これを試験前日まで繰り返しました。

これで再起を決意した翌年は2度目の受験となり、結果は選択式36点、択一式39点(基準点以下なし)でその年選択式はクリアしましたが、択一の合格ライン42点に3点及ばず不合格になりました。

この年は自分にとっては本格的な勉強をした真の1回目の受験でありました。

(実際は記念受験を含めると2回目の受験です。)

その翌年、再度チャレンジし昨年より更に目標を高く掲げ、実力テストはトップを目指し、昨年と同じ勉強内容を繰り返し実力テスト 4 回の内 2 回は 1 位を取ることができました。

また、模試も積極的に受験しました。模試は消化不良にならない程度で受験することをお勧めします。

模試の結果に一喜一憂することはあまり芳しいことではありませんが、こんなことも見落としていたのか、と必ず確認させられますし、模試を一つの区切りとして勉強のペース配分を作ったりしながら本試験までリードしてくれるからです。模試は唯一、本試験と同じ時間配分で問題を解くことになりますので、長時間の択一式の問題を解くペース配分なども体験できます。

私は前年と同じ勉強方法では平成 17 年度の本試験で合格することができました。

結果は選択式 34 点、択一式 52 点でした。この 1 年でかなり実力が伸びました。

私の場合、記念受験を除けばこの勉強方法で実質 2 年で合格できたことになります。

(私は合格まで 3 回受験しました。)

プラス教材として市販の一問一答の問題集を購入されることをお勧めいたします。一問一答を何度も回すことで必ず実力は上がります。

また、この勉強を始めて感じたことは、あまり枝葉のことに気をとられないということです。

インプットの段階であまりこれはどうなんだと考えている間に次の科目が来てしまいます。

考え方に固執しすぎると合格という目的からいつのまにか遠のいてしまっているなんてこともあります。

気をつけてください。

私は現在、あの地獄のような時間が嘘だったかのように健康を回復することができました。

これもTACを選択し、宮島先生にお会いすることが出来たからこそここまで来れたと思っております。

最後まで負けないという強い信念を持ってすれば必ず成功はついて来ると実感しました。

皆さんも様々な事情の中で勉強されていらっしゃると思います。

決して諦めないでください。この試験は一生懸命やれば必ず合格できるものです。

最後に、今年しかないんだという意気込みで勉強してください。頑張ってください。

~~~~~

宮島先生、ご無沙汰しております。

さて、さっそくですが私なりの学習方法を報告させていただきます。

(時間の捻出方法に関しては、結婚後のことです。)

1. 時間の捻出方法(平日の場合)

・朝勉強する。夜ですと残業や疲れがあるので毎日確保出来ない場合がありますが、朝でしたら間違いなく時間は確保できます。あとは慣れの問題です。

・昼休みに勉強する。内勤だったので昼食後は時間を比較的確保しやすかったので 30 分から 40 分は確保できました。

・電車の中を利用。やはりこれを利用しない手はないです。

・夜は会社帰りに近くのファミレスを利用。家に帰ると家族との時間を確保しなければなりませんし、朝勉強しているせいか眠くなってしまうのでファミレスを利用しておりました。場所によってはドリンクが飲み放題なので意外にいいかも…。

結論としましてはやはり世間で言う細切れの時間をうまく利用することだと思います。

上記方法だけでも 1 日に 3 時間～4 時間は確保できました。

2. 勉強方法

・当たり前のようですが、TACの教材と過去問のみ。やはり勉強できる時間が限られていたので、いろいろと手をつけている余裕はありませんでした。

・択一式を解く際には「一問一答形式」ではなく必ず「五肢択一方式」にて問題を解いておりました。問題によっては相対評価で正解を選ばなければならない場合があるので、その選択方法を養うことができる等メリットのほうが大きいような気がします。また解答する際は、必ずどこが間違っているかをメモしておりました。(実力テストや答練でもこの用法で行っていたので、先生も見ることがあるかもしれません。)そのメモを電車の中で見たりしたので、結構いい復習にもなりました。

~~~~~

こんにちは●●です。

私は先生が講義の合間や試験直前におっしゃった「注意事項」などのおかげで合格させていただいたので、今、ガイダンスを受けていらっしゃる皆さんも、きっといつか先生のアドバイスに心から感謝する日が来ると思っています。

「仕事と勉強の両立」という観点からお話します。

1. 何のために受験するのかをはっきりさせる

くじけそうになったとき、これは重要なのではないのでしょうか？

2. 勉強時間は細切れでも全然かまわない

仕事を持っていれば、まとまった時間はなかなかとれません。

細切れ、OK！その時間に集中すれば、問題ないと思います。

3. 自分にノルマを課す

私はラスト1ヶ月、自分にノルマを課していました。

ここまでやらなければ寝ない！と(テキストを広げてうたた寝しましたが…)

4. 書き込みはテキストに

テキストにノートに、なんてやっている荷物ばかり増えるし、そもそも電車の中で広げられません。

私は書き込みはすべてテキストの余白にしていました。

大きな図表なら、別紙に書いてテキストに貼っておけばOK。

過去問に出題された個所には、「○問か×問か」「×問ならどういう点で×だったのか」を書き込みました。

それらをチェックするだけでも、過去問の復習になりました。

5. 過去問や問題演習は論点の解説ができるまでやる

過去問や問題演習では、×問がどうして×なのか説明できるようにしました。

これをやっておくと、変化球がきたときにもある程度対応可能のように思います。

なお、過去問は厚くて大きいので、私は科目毎にちぎってバラバラにして、解答とペアで持ち歩きました。

先生は良くご存知と思いますが、私はずっと劣等生でした(笑)

1ヶ月前の模試はボロボロ…答練もヒドイ成績…

でも、本番でできればいいのだから、と思って復習に力をいれました。

もちろん、劣等生をお勧めしているわけではありません。(笑)

ただ、途中でうまくいなくても、最後までやってみる価値はある、ということです。

~~~~~

言われて気づきましたが、もう試験の時期なのですね。皆様のご成功を祈念しております。

さて「秘訣」募集に一口応募させていただきます。

◆TACに決めたら他のものには手を出さない。

隣の芝生は良く見える、といいますが、講義、テキストをきっちりやれば他に手を出す余裕もないはず。

◆毎日勉強を継続する。忙しい日は5分でも10分でもいい、気持ちを途切れさせないように。

なにはともあれ、自分の合格を信じてコツコツとやっていくことかと思います。

偉そうに能書きをたれておりますが、ご参考になれば幸いです。

~~~~~

宮島先生、こんばんは、●●です。

勉強を始める前、もともと勉強家でもなく学生時代から法律というものに関わる学科もあえて避けてきたところがあったので、この点で私にはハンデがあるように感じ、社労士の資格など自分に取れるものだろうか？と不安に思っていました。勉強を始めてからも条文の独特な言い回しに戸惑ったりしていました。しかしこれは勉強を続けていくうちに徐々に慣れていきました。

私が勉強する上でずっと心がけていたことは

・毎日必ず少しでも勉強する

・予習(テキストを読み、テキストの演習問題を解く)、

復習(受けたミニテストはその日のうちに見直す等)を欠かさない

- ・特に予習は必ずしておき、分からなかった部分を講義で集中して聞きました
  - ・テスト形式のものは全て手を動かさずに取り組む
  - ・過去問を何度も繰り返し解く
- という、ものすごく一般的で地道なものでした。

その他自分なりの工夫として効果があったと思われるのは、  
テキストで読んだだけでは理解しにくい部分を簡単な図のようにして余白に記入し、  
一目でどういうことかが判るようにしていたことでした。

答練や模試では成績順位がわかるので、自分が今どの辺りに位置しているのかを常に意識できたのも私にとってはいいい刺激になり、勉強に意欲的に取り組むきっかけを作ってくれました。

先生方に恵まれたおかげで講義も楽しんで受け続けることができたのですが、どうしても勉強が嫌で仕方なくなった時は、「だれに強制されたわけでもない。自分で決めて始めたこと。」と自分自身に言い聞かせ乗り切りました。

以上、これが私の試験突破法になったと思います。

少しでも皆さんが勉強をしていく上での参考になればよいのですが…。

~~~~~

私の拙い体験談ですが、お役に立つかどうか…

「外でやってから帰宅する」

とにかくウチの中は誘惑が多いものです。寝ようと思えばいつでも寝れるし。

ウチに帰ったらあとは「飯食って風呂入って寝るだけ！」にしておいた方がすっきりしますよ。私の場合は、会社帰りの喫茶店で11時に閉店の蛍の光が流れるまで勉強しました。

この方法にはもう一つの利点があります。朝起きて会社に行くときに「あー、今日は会社を休んで一日勉強したい！」と思うことは皆さんもあると思います。そして会社に着くと、「早く仕事を切り上げて勉強したい！」なんてことばかり考えたりして…そう、会社を出た瞬間が一番ヤル気モードが高いときなのです。鉄は熱いうちに打て、というか、一番勉強したくてたまらない時にしてしまうのが最も効率の良い方法だと思います。それを電車に乗って、ご飯食べてお風呂入って…その後勉強しようなどと甘い考えを持っていると、「今日はもう遅いから明日にしよう」とか「眠くなったからこのへんでやめておこう」とか、つい自分を甘やかす方向へ考えがちです。場所は喫茶店のほか、TACの自習室などいろいろとありますので、やりやすいところでどうぞ！

~~~~~

●●です。こんばんは。(^^)

私の場合、通勤時間が片道90分あったので、この通勤時間を利用して勉強していました。

TACから配布された過去問題集を各科目ごとに切り分けて持ち歩いていました。

最初はせっかくの本をバラバラに解体するのは抵抗があったのですが、バラバラにしてうすくしちゃった方が、気がラクになりました(笑)分厚い本を見るだけでやる気がなくなる人には絶対オススメですよ

仕事と勉強を両立するって時間が限られてくると思います。

だからこそ、すき間時間を有効に使わないと、時間が足りなくなると思います。

机だけが勉強場所じゃありません。かばんに問題集をしのばせておいて、ちょっと時間があったら目を通すだけでも、かなり頭に入ると思います。

ちなみに私は、平日はほとんど机に座って勉強していませんでした(笑)

~~~~~

宮島先生

土曜日の勉強会には久しぶりに出席しました。

あいにく人数は少なかったのですが、その反面アットホームな雰囲気でもよかったです。

学習法の件ですが、昨年たまたま1年目で合格できたことを振り返ってみると、

①土日に集中的に勉強するより、忙しくても毎日少しずつ勉強する。

(継続は力なり。極端な話では30分でもOK)

②仮に土日に通学講座に通える場合には、予習よりも復習を徹底的にする。

(途中からほとんど予習はやめてしまった)

③通勤時間を活用する。(暗記カードや合格のツボ等)

④最後まで諦めない。(自分はテストで一度も成績優秀者にならなかったし、模試も合格点にはるかに及

ばなかった。それに、試験1ヶ月前は心身ともに不調で受験自体を諦めようとも思った。)

⑤もし、夏休みが自由に取れるならば、試験前数日は休んで集中的に問題を解きまくるのが効果的。
(自分は永年表彰休暇も合わせて、直前5日間休みがとれたので、答練を解き直せた。)

⑥最後に最も効果的だったのが宮島先生の講義です。

(問題の解きなおしだけでなく、テキストの読み込みも重要なので、その際に大変役に立ちました。)
こんなところでしょうか。何かのご参考になれば。

~~~~~

宮島先生

●●と申します。

試験直前の緊張感と合わせて来年の受験生へのガイダンス、大変お疲れのことと思います。

私は昨年池袋校にて受講させていただき、宮島先生のおかげで1年で合格することができました。

#### 【受験生へのアドバイス、合格体験記】

##### 1. あえて自分を追い込みモチベーションを維持する

勉強を始める際に家族、会社、友人など、周囲の人たちに絶対一発合格宣言をしました。あえて自分を追い込むことで、モチベーションを維持できるし、有言実行すれば何かカッコいいなあ。。。

という思いでの宣言でしたが、自分が思っている以上の周囲からの協力、応援も得ることができ、勉強もしやすい環境を作ることができました。

くじけそうになった時にも、『宣言しちゃったしなあ。』と改めて初心に戻り頑張ることもできました。

##### 2. 時間は意識的に作り出し、学習時間を確保する

仕事をしながらの勉強だったため、まとまった時間の確保が難しかったのですが、細切れ時間を徹底的に勉強にあてました。

通勤電車で行き帰り 30 分ずつ、昼休み 30 分、外回りで歩いているときも講義テープを聞くなど、意識的に勉強時間を作りました。

まさにちりも積もれば…であり、年間でみるとかなりの時間を確保することができたのではないかと思います。また短時間のため集中することもでき質の高い学習ができました。

##### 3. カリキュラムと講師と自分を信じ邁進する

社労士試験は膨大な範囲の中からの出題となるため、どこかで勉強の歯止めをしなければなりません。

私は宮島先生の講義でやったことは確実にする。

しかしそれでダメだったらしょうがないと心中する覚悟を決めました。

特に初学だからこそ、あれこれ手を広げるより、重要なポイントを反復、集中して学習することが確実に点数につながると思います。

自分が信じてことができる学校、講師を見つける。また自分を信じ目標に向かい邁進する。その気持ちの強さが全てだと思います。

何だかんだ考えはじめたら長文になってしまいました。すみません…しかし少しでもご参考にさせていただければ幸いです。またメールを打っていると一年前がとても懐しく、今更ながら宮島先生への感謝の気持ちが、改めて思い起こされます。去年の勉強友達も試験直前であり、私も受験生みなさまの健闘を祈っております。

今後も勉強会等で、どうぞよろしくお願いいたします。

~~~~~

お疲れ様です。●●です。

自分が宮島先生のクラスを選択した理由としては、

①どこまで勉強の範囲を広げれば良いのか不安になるところを、先生の要点をまとめ、分かり易くまとめられた講義と資料の存在

②勉強に集中している(気合の入っている)レベルの高い受講生が多く、クラス全体の試験に対する熱意が高かったこと

③生徒間のコミュニケーションがあり、互いに刺激しあう事で、モチベーションの維持が図りやすかったこと の3点が主な部分です。少しでも役に立てればと思います。

~~~~~

●●です。

早速お力になるれか不明ですが、書かせていただきます。

(1) 一般的にお話できそうなこと

- ①合格できるか？できないのか？ではなく「合格する」と念じる。
- ②合格するために何をすべきかを考えて、妥協せずにやりぬく。
- ③何をすべきかを自分で考えると、やることが星の数ほどあるのでTACや宮島先生の「これをやって」という内容を確実に、コツコツやる。基本的には、①～③でOKです。

(2) 個人的な工夫としては、

- ④完全な朝方勉強にした。  
会社勤めなので、帰宅時間が定まらない状態でした。帰宅後の勉強をあきらめて、朝2時間確保しました。  
朝早く起きるコツは、夜早く寝ることです。(私、21時に就寝)
- ⑤TACの答練、模試は最後まで復習した。直前2、3日は、答練、模試の復習に集中した。

(3) 宮島クラス的には・・・

- ⑥デジボ命！復習時には、テキストより先にデジボ確認！直前期は「デジボにない論点だったら、捨てよう！」と勝手に解釈。

こんな感じでよろしいでしょうか？

参考までに、私は、理系の大学出身。勉強開始時の年齢は30歳。受験時は31歳。労働法規などは、勉強を始めて、初めて「労働基準法ってこんな風になってるんだあ」と思ったくらいのレベルです。

それでは、不明点あればお尋ねいただければ幸いです。今日から事務指定講習行ってきました。

~~~~~

社労士は、勉強方法を間違えず、ある一定の時間を確保すれば必ず取れる資格です。

その点、きちんとした無理のないカリキュラムに沿った講義を受けられ、重複受講や振替受講もできるTACはお勧めです。

私は以前、シスアドの資格を取得するときにTACを利用させていただき、無事1回の試験で合格できたので、今回も学校は迷わずTACを選びました。結果はなんと今回も1回で合格です。これもTACの授業にきちんと通ったおかげだと思います。

忙しい社会人や学生の方たちなどは講義に通う時間を捻出するのも大変だと思いますが、可能であれば違う先生を重複受講すると、同じ内容でも異なる説明をしてくださったりするので、より記憶に残りやすかったりするかもしれません。

社労士の資格は非常に奥が深く、取得してから日々、知識のブラッシュアップが欠かせません。

法律を経営者側からアプローチするのか、労働者側から考えるのかによっても理解や説明の方法が大きく変わります。自分が望めば、単なる書類作成代行にとどまらず、経営コンサル的な企業側からの相談や、対極にある労働者の悩み解決にもおのれるので、とてもやりがいがあり、挑戦しがいのある資格だと思います。

~~~~~

宮島先生

ご返信いただきまして、ありがとうございます。先生が示していたいくつかの内容について書いてみました。使用せずでも、抜粋でも、あとは先生のご判断にお任せします

◆勉強を始めようかどうか・・・

不安があるときの悩みはつきないもので、勉強時間が確保できるか、ちゃんと授業に通えるか、最後までやりきれるか、合格率を考えるとどうだろうか、等々。わたしも様々な要素の間で悩みました。

しかし、せっかく気になって調べだした事を、悩んで、悩んで、結局は消極的な理由からやめてしまう。それは、一度はできた選択肢のその先の機会を、すべて自ら奪っていることになる気がしたのです。

わたしが勉強をして良かったことは、多岐に渡ります。知識を増やすことでいろいろな立場の人と状況に合わせた具体的な会話が可能になる。その後の選択肢がでてくる。自分の適性を知ることができる。どんな方向であれ目的のために努力をしている人の苦労がわかる。社会の動きにある専門的な方向から関心を注ぐことができる等々、きりがありません。始めたもの勝ち。悩んでいる間に、えいっと申し込みの手続きを済ませて、さっさとテキストを揃えて始めてしまう。そんな潔い人への憧れもあり、わたしは勉強を始めました。

◆どここの学校にしようか・・・

宮島先生のクラスのあるTACがオススメです。

そのクラスに乗って、波に乗りつつ、勉強を進めていくことで合格が射程圏内に入ってきます。

宮島先生は長年のご経験から、具体的な勉強方法のアドバイス、各科目の細かな部分の質問への答え、精神的な不安に対するアドバイス、毎日の勉強スタイル等々、多岐に渡り、受験生に必要なあらゆる情報を与えて下さいます。そのタイミングは絶妙で、普段からよく生徒の立場に立って、物事を考えてくださっている先生だと感じることができると思います。それらの言葉は、道しるべとなり、お守りとなり、支えとなり、励みとなり、存在感つよく心に残り、合格への行動を元気にプッシュしてくれます。

信頼を寄せて通うことができるクラスです。信頼関係のある場所には不思議と輪ができるもので、同じ思いをしたもの同士、合格後も集う仲間を得ることもできました。(あれ？TACというより宮島クラスお薦めになってしまいましたね^\_^;) )

◆自分でも合格できるのか・・・

私にも不安がありました。

けれど、何かをやり遂げようと目標を掲げること。それは人生において数回しかない尊いチャンスです。試験に受かること、それは多大なエネルギーを要することであることに間違いはありませんが、何かを自分の意志によって企てることの尊さに触れ、それに全エネルギーを注ぐ楽しさを味わう貴重な機会です。

是非、覚悟を決めて飛び込んでみてください。そうして乗り越えた経験は、その後も、自分を信じて行動を起こしていける礎となります。

◆合格するための勉強方法

まず場所についてですが、わたしは普段1人でぼけーっと時間を過ごしてしまうタイプなので、勉強は人の目がある自習室やカフェを利用しました。自習室では、年下のコたちが頑張っているのを見ては、感心して自分も奮起し、カフェでは気分転換に周囲を眺め、意外と勉強をしている人は多いものだと感じて励みにしました。それから自分なりの気分転換をつくっておくといいと思います。わたしの場合は、勉強の合間に音楽を聴いて、自分をポジティブな思考にのせ、勢いをつけることが、とても有効でした。

そして、勉強方法で一番大事なことは、勉強スケジュールを立てることです。全科目について、何が何でも取りこぼさないという覚悟をしっかりと決めて組みます。社労士は試験範囲が広いので、本当にこれが分かれば道になると思います。直前で科目を回しきれずに、今年は無理だと悟るのは本当に惨めです。これだけは、律してがんばってください。

暗記ものも多いので、とくに試験前2ヶ月のスケジュールを確実に回しきることが大切な気がします。季節的にも厳しい時期ですが、栄養ドリンク片手に、決めたところまでは絶対に終わらせるようにしました。

慣れも必要と思ったので、試験時間と同じ時間、机に座り、集中しきることを繰り返していました。

また、これは勉強方法ではありませんが、意外と大事なことで、周囲の理解を得つつ環境を調えることが大事だなあと、つくづく思いました。わたしは、仕事をしながら限られた時間の中での受験だったので、直前期にはさすがに周囲の雑談にもメールにも答えている時間がありませんでした。事情を分かってもらえるように、2ヶ月前から宣言して、理解をもらいました。それはそれで、協力的に振る舞ってくれるよい友人が見えてくる期間になりました。勉強期間中は、いろいろな障害がふりかかってくると思うのですが、自分が集中できる環境を作りながら、試験に望むのが大事だと思います。

以上つたない文章に目を通して頂いてありがとうございました。

<END>

~~~~~